事　業　報　告　書

事業の名称　：　**海洋アジアの絆フェスタ 2026in 葛西 Autumn**
開催場所　：　**都立葛西臨海公園（日本庭園前）**
開催期間　：　**令和 8 年 9 月 19 日～9 月 27 日（9 日間）**
参加人数　：　**約 4,000 名**

目　的

海洋アジア各国の歴史や文化を学び、市民レベルでの交流を深めるために、各国の案内となる展示やステージ、物産の紹介となるフェスティバルを開催する。都民、在留外国人、訪日外国人を対象として、それぞれの興味に基づいて参加できる内容を目指し、誰でも気軽に自由にアクセスしやすい首都圏の公園において実施する。

① 展示ブース

休憩所には、ASEAN 諸国の風景や観光地の写真を展示し、来場者に各国の魅力を知っていただけるよう工夫した。また、映像ブースでは各国の文化を紹介する DVD を上映するとともに、パネル展示や解説アナウンスを実施した。さらに、来場者一人ひとりに対して丁寧に説明を行い、ASEAN 諸国をはじめとする近隣諸国への理解を深めていただけるよう努めた。

写真展示では、来場者が見やすく楽しめるように配置を配慮し、各国の特色が伝わる展示方法を工夫した。その結果、多くの来場者に関心を持っていただき、楽しみながら観覧していただくことができた。



② ステージイベント

今回のステージは、ASEAN 諸国をテーマとした発表を行った。発表では、前回と同様に ASEAN 諸国の地図や各国の風景写真を使用したパネルを活用し、東南アジア諸国の文化や観光資源などを視覚的に感じていただけるように紹介した。また、ミャンマー出身の技能研修生をゲストとして招き、日本に対する印象や母国との違いなどをテーマにトークイベントを開催し、多くの来場者に興味を持っていただいた。写真や資料を交えた分かりやすい説明を通じて、参加者の ASEAN 地域への理解や関心を深めるとともに、国際交流や多文化共生について考える機会を提供しました。

近隣諸国の紹介では、台湾に関する情報を中心に来場者へ紹介した。





③ 食文化・友好親

会場には各国の料理を提供する模擬店や、参加者同士が気軽に交流できる休憩スペースを設置した。テントの下にはテーブルや椅子を設置し、来場者が食事や休憩をしながら快適に過ごせる環境を整えた。また、各国の食文化に触れる機会を設けることで、来場者にそれぞれの国の魅力を感じていただき、国際交流や友好親善につながる場となった。




感染拡大防止対策について

東京都をはじめ各機関の方針に従い、感染症の拡大防止に向けた対策を適切に実施した。
休憩所内では各テーブルにアルコール消毒液を配置し、来場者に手指の消毒を呼びかけた。また、
休憩所内で密集した状態にならないよう来場者へ注意を促し、感染症の拡大防止に努めた。

※今回は9日間にわたり開催した。シルバーウイーク期間中ということもあり、多くの来場者が見込まれていたが、開催期間中は雨や不安定な天候が続き、公園を訪れる来場者は天候の影響を受け、通常と比較して半分程度にまで減少した。
そのような状況ではあったが、休憩所に写真展示スペースを設けたことで、雨天時でも展示を見ていただける環境を整えることが出来た。また、休憩や散策の途中に気軽に立ち寄る来場者もおり、学生や家族連れをはじめ、幅広い年代の方々に展示を鑑賞していただくことができた。
好評をいただいている『写真パネル』については、今後も展示内容や写真種類を充実させ、より多くの来場者に楽しんでいただける展示となるよう努めていきたい。

今後も関係各位のご協力とご指導の下、健全なる国際交流イベントを継続してまいります。
引き続きご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



主催	海洋アジアの絆実行委員会　（実行委員長　三澤　浩一） （事務局長 兼 現場責任者　平岡　元秀）
後援	東京都、江戸川区、国際機関日本アセアンセンター
協賛	一般財団法人大東会館、つながろう日本！連絡協議会